



▲特別養護老人ホームで清掃活動に励む留萌市赤十字奉仕団の団員たち

留萌市赤十字奉仕団は、赤十字奉仕の博愛精神に基づいて昭和29年4月に発足しました。市内のボランティア団体の草分け的な存在で、昨年創立60周年を迎えました。現在は、50〜80歳代の団員約60人が奉仕活動に取り組んでいます。

主な活動として特別養護老人ホームの清掃活動や新入児童を対象にした赤十字マスコットの寄贈、防災訓練での炊き出し、募金活動、街頭啓発などを行っています。

副委員長の白鳥アツミさんは「昭和50年に入団しました。当時は子育ての合間を見ながら奉仕活動に参加

していました。家族の理解と協力があり、活動を継続してこられたと感謝しています」と話しています。

奉仕活動について「気張らずに、できる人ができるときにできることをすることが大切だと考えています。奉仕活動は一人ではできないことですので、みんなで協力し合い、話し合いながら続けていくことが重要だと思います」と語ってくれました。

さらに「市内では、さまざまなボランティア団体が活動しています。その中で、子育て世代の若いお母さんたちの姿を見ることができません。若いうちからボラン

ティアに関わることは素晴らしいことです。若いお母さんたちの活動は微笑ましく、とても感心しています」と笑顔を見せていました。

「自分にとって良いことが相手にとっての良いこととは限りません。相手の立場になって考えて行動することが本当の意味での『おもいやり』ではないでしょうか」と話してくれました。

◇

留萌市赤十字奉仕団では、さまざまな奉仕活動に取り組んでいます。活動内容など詳細については、下記へお問い合わせください。

## できるよきにできるよきを相手の立場になって行動

留萌市赤十字奉仕団



留萌市赤十字奉仕団

白鳥 アツミ さん